

研修報告書No. 1 4

所 属：県外大学病院研修医

研修先：特定医療法人長生会 大井田病院
医療法人聖真会 渭南病院
宿毛市沖の島へき地診療所

高知での地域研修を終えて

11月30日より約1ヶ月間、前半2週間を大井田病院で、後半2週間を渭南病院で研修をさせていただきました。これまで東京・神奈川で育った自分からすると、高知県で研修をするにあたり、生活や医療に対して不安を持っていました。しかし、先生方とお会いしてそのような不安はなくなっていきました。

前半お世話になった大井田病院では、普段いる大学病院ではないことを主に考えていただき研修させていただきました。地域包括センターやデイケアに行き、そのスタッフと患者の自宅を訪問し、抱えている疾患や住んでいる環境をみて、その方にはどのようなケアが必要なのか、どのような環境整備が必要なのかを共に考える機会を得ました。大学病院ではなかなかそのような機会に恵まれないので、色々と考えさせられました。東京なら入院させるだろうと思われる方でも、家族の事情や経済的なことで入院や積極的な医療が行えていない実態をみて、改善が必要と思いながらもとても難しい問題だと感じました。地域包括センターやデイケアの方だけでなく、医師がその場において環境をみたり、説明ができる機会が多くなると少しは変わるかと感じましたが、医師の数も満足でない現状からすると難しいと思われます。施設スタッフだけだと、医療知識が満足にない分、患者の希望通りにことをすすめがちになっているようにも感じました。難しい問題点ですが、改善されれば、より患者のためになるかと考えます。

2週目に沖の島の診療所での研修もさせていただきました。人口は少ないですが、診療所は島民にとってとても大切なものであり、今後どのように維持していくか、医師の派遣の方法も含めて考えていかなければいけないと思いました。島民と看護師の距離感の近い家族のような信頼関係はとても素晴らしいと思いました。また、大井田病院では理事長、院長をはじめ、とても熱心で気さくな先生が多く、専門分野以外の知識も豊富で、様々な患者の訴え、疾患に対応されていました。外来や訪問診療・看護を通して沢山のことを教えていただきました。自分の将来をみたときに、とても刺激になり勉強になりました。

後半の渭南病院では外来を多くやらせていただき、整形外科に入局することを伝えると、整形外科疾患をはじめ、沢山の外科手技をやらせていただきました。大学病院にいと、研修医はなかなか外来をやる機会はないので、とても勉強になりました。訪問診療も積極

的に行っており、地域においての必要性を強く感じました。渭南病院のまわりには療養型の病院しかないため、渭南病院の先生方は幅広い知識と技術、そしてなによりも熱い思いで医療と向き合っていました。院長とお話をさせていただく度に、その思いの大きさと使命感、この地域を良くしたい、この地域の医療のために何が必要か考えていることを強く感じ、とても刺激を受けました。この院長の思いが、他の先生方、スタッフにも伝わっており、みんなでチームになって地域のために頑張っている感じがしました。このような姿、考えを大学病院に戻っても忘れてはいけないと感じました。

2つの病院でお世話になりましたが、共通してあるのは幅広い知識と技術、そして地域の方々への熱い思いです。知識や技術は大学病院や大都市の病院の医師もあると思いますが、思いに関しては、確実に今回お世話になった先生方の方がいると思います。そしてそれが医師にとって一番必要なことだと考えさせられました。やはり医師不足というのは避けられない問題点であり、今後改善するべく対策が必要となってくると思います。数が確保できれば、やれることも増えると思いますし、それが地域の方一人一人のためになると思います。私自身も、今回考えたこと、学んだことを忘れることなく、今後の医師人生に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。